

台湾野外スクーリングを実施して

2年 西川雅章

2010年6月22日から25日に総合学科14期生のスクーリング（台湾）が実施されました。12期生までは、国内と国外の2方面で生徒の希望をもとに実施していましたが、13期生からは、財政面の問題から、1方面で実施するようになり、しかも、諸般の事情から6月実施になりました。13期生は、6月に北海道で実施しました。

従来、海外でのスクーリングの参加数はほぼ100名弱と聞いています。今回、学年全員での実施となりましたので、見学場所の関係で、初日の午後の見学（中正紀念堂・孔子廟）は学年を2班に分け交互で行いました。さらにその夜の台北101と饒河夜市の見学も同様に、初日と2日目とを分けました。全体での行動にどうしても時間はかかる一面はありましたが、2日目の大同高級中学との交流や3日目の夜の全体レクレーションなどは学年全体として取り組むことができ、大変盛り上がり、学年としてのまとまりを実感しました。海外スクーリングにおいても、生徒たちの自主的な活動を保証しようとして、3日目は班別自主研修として、生徒5～6名につき現地ガイド1名を割り当て、事前に生徒がコースを計画し MRT 1日券などを使い台湾北部を見学するというものです。生徒一人ひとりが台北のスクーリングを満喫できたように思います。

6月実施ということで、2日目の午後のコース別体験（九分見学、太極拳体験、小龍籠作りほか）の希望調査や3日目の班別自主研修の班分け、ホテルの部屋分けなどは1年次に行っていましたので心配もしましたが、生徒達は楽しんでいました。この期間の様々な活動を通して考え学んだことを、今後の生活に生かしてくれることを願っています。